

十一月六日 夕刊
今日北東の風
明日は北西の風
天気次第に良く

深む秋晩

世相の憂愁さよ
輪禍相次ぎ
自殺者頻り
やがて来る冬の前奏曲!

生活苦の
印刷師が
厭世の自殺
勿来町印刷業名古屋
由蔵(元)は五日午後一時
頃自宅居間で絶死を遂げ

平町の最高位
弓道四段
柏原秀藏氏が
擔ふ此の榮譽
健康増進と精神の練磨
には此の道を除くはなし

紅の一角に
照り映えて
明日曜客を待つ川前
秋の川前(谷谷)は、平町方面からの秋の紅葉

有功章
御親授
愛國婦人會の總會に於て
總裁東久野宮妃殿下より
有功章を御親授されたる

老レンペンが
三夜尊てスリ
平野製糖の所長
求人部
見習職員 十六、七才
小遣任者 高卒
後日給食付き五十員

白柄劍風連
大島多慶夫作
井川洗滌書
村瀬春映書

濱三郡教育関係者
磐女講堂で總集會

功勞者表彰其他の協議
既報濱三郡教育總會は、
八日午前十時から磐女講堂
に開かれ、各方面の

久留島先生
感謝の會に臨みて
午後五時半頃、私用一切
を兼ねて、島田島を最後
として、磐女講堂に

親分大憤慨
齒をむき出し
胸部に噛つく
好間村大字上好間魚行商
鈴木安四郎(三)は去月十日

平署長
容態良好
平熱に近い
去る廿一日以来、耳下
に生じた腫物から丹毒症に

明日磐中道場
柔道有段者審査
濱三郡の猛者六十名
一七秒二天(大) 相馬
三郡下の柔道有段者審査

女子選手権
女子選抜部も出場
好間村大字上好間小田炭
礦産機械工士井澤留吉

魚油肥検査
濱三郡の猛者六十名
一七秒二天(大) 相馬
三郡下の柔道有段者審査

昭和入絹の繰業
愈よ本格的開始

錦村昭和入絹工場は過
般試運転を行った後、
製造も注文殺到のため
多忙を極め、他の

珠算前準備
既報
来る十四日郡下の珠算
技藝會を催す平署は、
七日午後一時から職員會を開

武運長久を
神前に祈願
入營兵の歡送
軍國の秋、皇國を背負
ふ壯士の送迎に、

菊田方部
九日に開催
那須南菊田方部第一區校長
會は九日、好間小田炭

金物泥
好間村大字上好間小田炭
礦産機械工士井澤留吉

馬車輓喧嘩
四倉
町字新町一馬車輓喧嘩
四倉
町の治(三)は去月六日午後

平野製糖
三男婚
後八日、三男婚
後八日、三男婚



白柄劍風連
大島多慶夫作
井川洗滌書
村瀬春映書

昭和人絹の繰業
愈よ本格的開始

錦村昭和入絹工場は過
般試運転を行った後、
製造も注文殺到のため
多忙を極め、他の

珠算前準備
既報
来る十四日郡下の珠算
技藝會を催す平署は、
七日午後一時から職員會を開

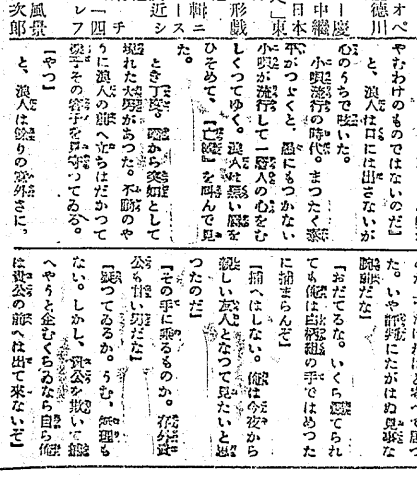
武運長久を
神前に祈願
入營兵の歡送
軍國の秋、皇國を背負
ふ壯士の送迎に、

菊田方部
九日に開催
那須南菊田方部第一區校長
會は九日、好間小田炭

金物泥
好間村大字上好間小田炭
礦産機械工士井澤留吉

馬車輓喧嘩
四倉
町字新町一馬車輓喧嘩
四倉
町の治(三)は去月六日午後

平野製糖
三男婚
後八日、三男婚
後八日、三男婚



白柄劍風連
大島多慶夫作
井川洗滌書
村瀬春映書



娘の心理

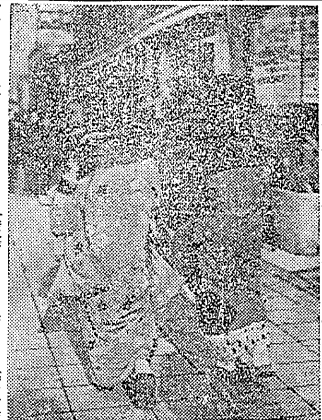
岡本かの子

「世間でいふところの娘の心理...」

日本趣味の氾濫

光りと深さとの豊かなもの

婦人コート新傾向



「婦人趣味の氾濫...」

受験勉強の前には

先健康診断を

子供にも神経衰弱がある

成績に重大な関係

「受験勉強の前には先健康診断を...」

冬のお悩みは ひび霜やけ 簡単な手当法... 百十歳の お爺さん... 冬のお悩みは...



アクビは どうして起る?

精神的退屈が原因でもない 生理的自然療法

「アクビは どうして起る?...」

時代思想に反し

反動的に優美子女が

反動的に優美子女が

「時代思想に反し反動的に優美子女が...」

護れ太平洋の波 寺島 征史 (作) 村瀬 春 映 (書)



「護れ太平洋の波...」

メリヤスは 専門店 山家メリヤス店

石炭部阿 豆炭

吉田眼科醫院

魚清食堂

佛造花 橋本屋

大和田醫院

比佐棟雄 安齊醫院

魚店へ